

# 石油と戦争

ゴバル・ダヤネーニ&ボブ・ウイングによる

WAR-TIMES 2002年6月 第3号 WWW.WAR-TIMES.ORG

## 戦争 それは何の役に立つのか?

ブッシュ大統領は、戦争がテロを撲滅すると言う。だが「テロとの戦争」の地図を作ることは、世界の石油の地図を作ることである。

中東では、最優先はサダム・フセインを除去するイラクへの大規模侵攻であると、米政権は発表した。フセインは冷酷な指導者であるが、しかし米は多くの独裁者を支援している。ワシントンが彼を銃の射程に入れているのは、フセインがペルシャ湾の莫大な石油という富の米支配に対する主要な敵対者だからである。

アフガニスタンでは、「テロとの戦争」は親米政府を生み出し、そして周辺9カ国に米軍事基地を生み出した。その中央アジア諸国は、石油と天然ガスが豊富である。米はアフガニスタンを十字路にし、西側と成長するアジア市場とへパイプラインを敷くために、軍事行動によって道をあけようとしている。

カスピ海地域では、米は、9.11のすぐ後から、新しい軍事基地を建設し続け、地元の防衛軍を訓練し続けている。以前ソビエト共和国だったトルクメニスタンとウズベキスタンは、5兆ドルに値すると見積られる未開発の石油と天然ガスであふれている。ここはペルシャ湾に次いで世界で最も大きな石油の宝庫である。

石油はまた、「テロとの戦争」をラテンアメリカとアフリカへ輸出する米の最近の行動の中心に位置するものでもある。コロンビアでは、米は政府軍に9800万ドルを与える用意があるが、それはオキシデンタル・ペトロリアム社の石油パイプラインを反乱軍の破壊から防衛するためである。米国への3番目に大きな石油供給国であるベネズエラでは、米は民主的に選出された大統領に対する失敗したクーデターの指導者たちに会い、資金を提供して支援していた。

アフリカでは、米国は最近、アフリカ大陸最大の対米石油供給国であるナイジェリアへの軍事援助を増加させた。石油産業は世界で最もパワフルである。それは現代の工業、

農業および輸送に燃料を供給する。その資本の流れはグローバルな金融システムを形成する。

## チェイニー = エンロン計画

大手石油会社は、また、ブッシュ政権をも支配している。ブッシュ大統領、副大統領のディック・チェイニー、そして政権内のほとんど全てのトップ高官たちは、トップの石油会社役員

であるか、あるいはこの産業との積年の絆を持っている。

(「Bush's Oil Machine」参照) その例外となる者たちは、國務長官コリン・パウエルのように、軍事防衛産業と結びついている。

この政権の石油戦略は、エンロンその他のエネルギー巨大企業役員からの悪名高い援助を得て、チェイニーが昨年作成した国家エネルギー計画の中で推し進められた。驚くべきことではないが、その計画は米自動車の燃費向上に反対している。そしてその計画は、手つかずのアラスカ国立野生動物保護区の開発を要求している。だがそのような掘削をしても、より大きなエネルギー状況の中では大した違いをもたらさないだろう。

マイケル・クレア教授は、『パシフィック・ニュース・

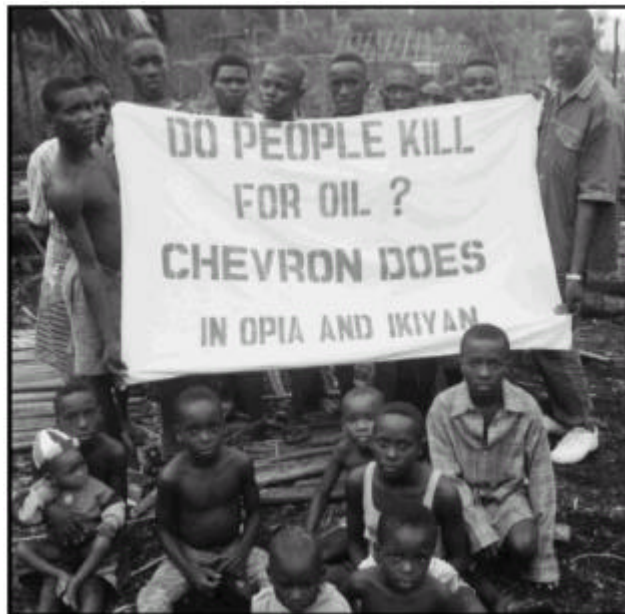
サービス』への論評で、チェイニー報告を次の3点に要約している

・米は海外の石油にますます依存している。現在、米は1日当たり約1000万バレル、全消費量の53%を輸入している。2020年までに米の石油輸入量は、1日当たり約1700万バレル、全消費量の65%に上昇するだろう。

・それゆえ米は、現在の供給国であるサウジアラビア、ベネズエラ、カナダに加えて、新しい海外の石油供給源を確保しなければならない。その計画は、米の将来の石油需要を満たし、OPECへの依存を終わらせるために、カスピ海諸国、ロシア、アフリカを当てにしている。

・米は市場の力だけでこの石油へのアクセスを獲得することができない。米エネルギー会社に対する外国の抵抗は積年のものがある。報告にあるように、「外国勢力はいつもアメリカの利益を心にかけているとは限らない。」

(裏に続く)



ナイジェリアでのシェブロンに対する抗議。ワシントンは「テロとの戦争」を石油のためのグローバルな戦争に転化したのか?

横断幕: 人は石油のために人殺しをするか?

シェブロンはやっている。オピアとイキヤンで。

このリーフレットの訳出に関して署名事務局は「War Times」から許諾を得ています。

リプリントして運動に役に立ててください。

アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局

# ブッシュの 石油マシン

キャサリン・バルディ  
ダニー・ケネディ  
PROJECT UNDERGROUND,  
WWW.MOLES.ORG

ジョージ W ブッシュはワシントンの中心に石油産業を導き入れた。「オイル&ガス ジャーナル」が述べたように、産業界の見方からすれば、主役たちの配役にこれ以上のものはない。」ここに挙げるのは、いく人かの主要な役者である。



ジョージ・ブッシュ、大統領

大統領の最良のビジネス

行為は、彼が1970年代に始めた小さな石油企業、ブッシュ・エクスプロレーション/アルプストを、スベクトラム7に売却したことだった。その見返りに彼は、60万ドルの株式と12万ドルの年間契約を獲得し、そしてテキサスの石油業界に多くの友人を得た。石油その他のエネルギー・マネーが、280万ドルもジョージ2世の2000年の選挙運動の

金庫へと流れ込んだ。それとは別に230万ドルが自動車部門からもたらされた。エンロンは共和党全国委員会に100万ドル以上を寄付した。

## ディック・チェイニー、副大統領

ブッシュ1世の下で国防長官を務めた後、チェイニーはダラスに移り住んで、世界最大の石油サービス会社ハリバートンを率いた。ハリバートンは、130か国に10万人の従業員をかかえ、182億ドルの市場価値を有している。1992年以來、この会社はワシントンの政治家たちに16億ドルを寄付した。ハリバートンは現在、プレハブ基地を建設し職員を配置するという契約を米軍との間で結んでいる。それは、チェイニーが国防長官だった時に彼に擁護された計画である。

## ザルマイ・カリルザード、アフガニスタン特使

駐アフガニスタン最高級米外交官カリルザードは、レーガン政権およびブッシュ1世政権のメンバーとして軍事行動を促進してきた長い経歴がある。彼は1997年に巨大石油企業ユノカルのコンサルタントとして、天然ガスを輸送するために彼らが提案した900マイルのアフガン・パイプラインのためのリスク評価を指揮した。またタリバンがアフガニスタンを支配していた時ユノカルのパイプラインを擁護して、カリルザードはワシントン・ポストの中でこう書いた。「タリバンは、イランによって行われているような反米スタイルの原理主義を突

践したりはしない。我々は喜んでタリバンを承認し人道的援助を提示すべきだ。」



ドン・エヴァンス  
商務長官

エヴァンスは最近の3つの

選挙でブッシュ2世の選挙運動本部長かつ資金調達主任として、石油業界の仲間から数百万ドルを引き出した。それより以前には、彼はコロラドに拠点を置く石油会社トム・ブラウン社のCEO兼会長であり、石油産業の請負業者シャープ・ドリリングの役員だった。商務長官として、エヴァンスは米海洋大気政策の監督を行っている。国内の石油および天然ガス生産の25%が沖合の採掘からなので、石油産業は政権内に友人を得て喜んでいない。

## コンドリーザ・ライス、国家安全保障問題担当補佐官

ライスは、シェブロン・コーポレーション(現在はシェブロン・テキサコ)の役員として10年間を過ごした。彼女はシェブロンの主要なカザフスタンの専門家であったが、この会社はそこで200億ドルを投資していた。シェブロン・テキサコはナイジェリアでもビッグ・プレイヤーである。ライスはこの国に対する米政策に関与している。ライスがシェブロンの役員を去った時、シェブロンはそのマンモスタンカーの1つに「コンドリーザ」の名前を付けて彼女の榮譽を称えた。

## 石油と戦争(続き) 戦争ビジネス

こういう理由からワシントンは、9.11の悲劇をとらえて、世界中の産油国で米の軍事プレゼンスを拡大させたのである。

『アジア・タイムズ』のコラムニスト、ベベ・エスコパールは次のように考察している。「戦争ビジネスに匹敵するビジネスは他にない。イラクに対する戦争のお陰で、米はペルシャ湾に自己の軍事基地を持つようになった。ユーゴスラビアに対する戦争のお陰で、米はボスニア、コソボ及びマケドニアに自己の軍事基地を持つようになった。タリバンに対する戦争のお陰で、トルクメニスタン、ウズベキスタン、パキスタン、アフガニスタンに米は今プレゼンスを持っている」と。トルコ、グルジア、アゼルバイジ

ャンもそれに加えることができる。

世界の石油を支配するための米の戦争には、もっと大きな利害関係が関わっていると、エスコパールは考えている。「もし米が、ライバルたち ヨーロッパ 日本 中国、及びより自立的であることを熱望する他の諸国家のエネルギー供給源を支配するならば、米は勝利する。」石油の支配は世界経済支配の鍵である。

ブッシュは彼の戦争計画を「不朽の自由」と呼ぶ。しかし、それよりも「永続的な利益」を生むことに適している。そうだと、エスコパールは考えている。

この資料情報は、ブッシュの戦争に国内外で反対する、国家から独立した新聞「War Times」からの再録である。War Timesへの接触は、www.war-times.org またはeメール：wartimes@attbi.com

リーフレットのデザインは、Andrew Siegal